

ワーク・ライフ・バランスって？ 女性活躍推進って？ なに？？

働くすべての人が、子育てや介護、休養やボランティア活動などの仕事以外の「生活」と「仕事」の調和を図り、両方を充実させる生き方や働き方のことです。仕事と生活に割く時間を半分ずつにして、バランスを保とうというものではありません。また、残業をしないから、休みが取れているから、充実しているというような単純なものでもありません。仕事がおもしろいと思う時、仕事に集中することで生活が充実する場合もあります。仕事と生活の中で、どこに重点を置きたいかは、子育て期、中高年期などそれぞれの人の人生の段階によって変わってくるものです。

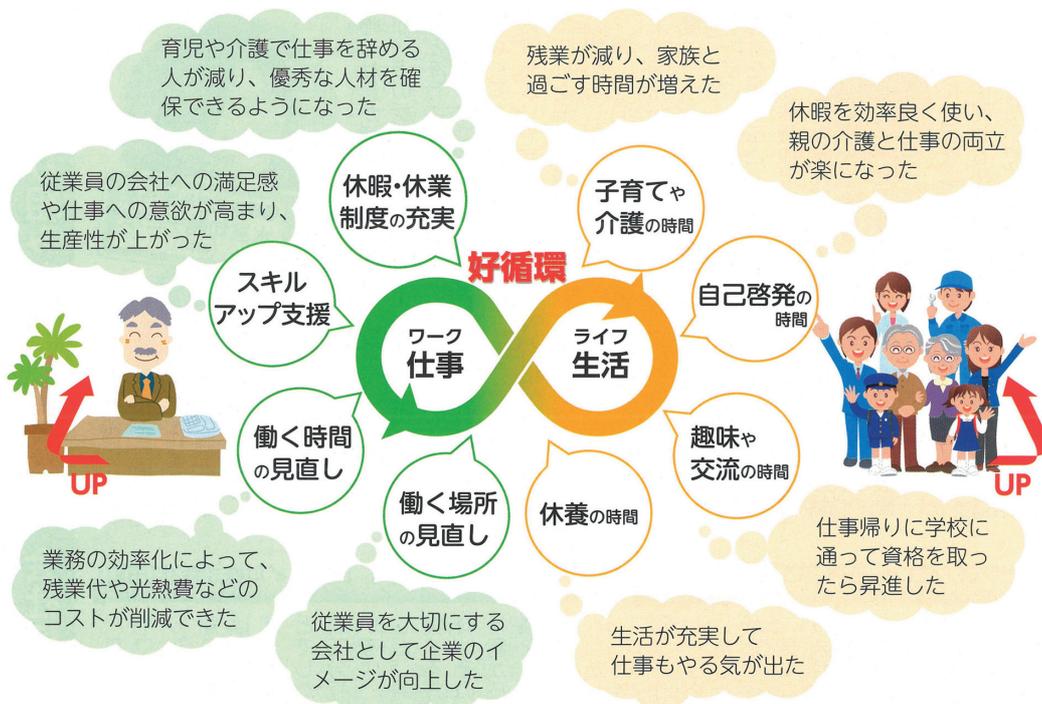
女性の活躍を推進する社会とは、男女問わず平等な雇用機会と待遇確保により、いわゆるM字カーブ問題(※) 解消に向けた女性の就業率の向上や男女がともに幅広い職種や業務で能力を発揮できることを目指すものであり、育児や介護などのために離職しなくてよい職場環境整備、また一度離職した女性の再就職の支援や積極的な女性管理職の登用など様々な取組が求められています。

(※) 日本の女性の労働力率を年齢階級別にグラフ化したとき、30歳代を谷とし、20歳代後半と40歳代後半が山になるアルファベットのMのような形になること。これは結婚や出産を機に退職する女性が多く、子育てが一段落すると再就職するという傾向のため。なお、国際的にみると、アメリカやスウェーデン等の欧米先進国では、子育て期における就業率低下はみられない。

ワーク・ライフ・バランスや女性活躍を推進することは、その人がやりがいや充実感を感じながら働き、仕事での責任を果たしながら、人生のさまざまな段階に応じた生き方が選択・実現できる社会です。

どんな良いことがあるの？

ワーク・ライフ・バランスや女性の活躍を推進し充実させることは、働く人やその家族だけでなく企業にもメリットがあり、社会全体の活性化に繋がります。



本書の作成にあたり、ご協力いただきました関係者の皆さまに厚くお礼申し上げます。

2019年3月 津山市人権啓発課